



VOICE

千代田区 自由民主党議員団活動レポート

発行：千代田区議会 自由民主党議員団 〒102-8688 東京都千代田区九段南1-2-1(千代田区役所7F)

あなたの声をお聞かせください!

▶ウェブサイト <http://jimin-chiyoda.tokyo>

▶お電話 03-5211-4320 ▶ファクス 03-5275-6882



戸張孝次郎



桜井ただし



小林やすお



松本佳子



嶋崎秀彦



内田直之



永田壮一



山田丈夫



池田ともり



大坂隆洋



ハレスサイドビル

区民の皆さんの視点で 精力的に審査を実施!

予算・決算特別委員会において

予算・決算特別委員会を終えて

予算・決算を審査する重要な委員会の委員長という職責を平成23年に初めて務めて以来今回で7回目の就任となりました。

補正予算については、「麹町仮住宅の整備」に係る減額と債務負担行為の期間変更及び「四番町公共施設整備基本設計」の繰越明許費を定めるものです。この案件は、当初予算審議でも大きな議論となり、地域や区議会との確認のうえで十分に説明して取り組むことを求め、全会一致で附帯決議を行ったものです。

しかし、その後の執行機関の取り組みが不十分であることが指摘され、改めて地域住民や住宅居住者の意向を確認し、迅速かつ十分に対応することを求める附帯決議を付し、賛成多数によって



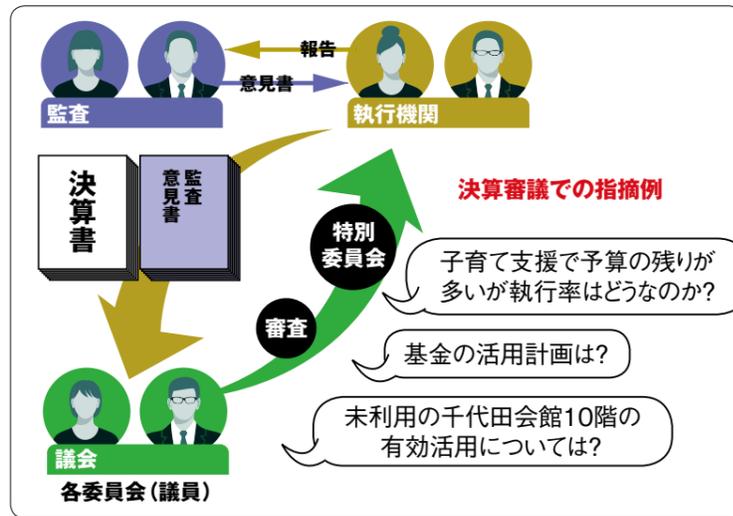
予算・決算特別委員会委員長 嶋崎秀彦

可決されました。

決算については、昨年の審査で指摘された芸術作品の扱いについて、未だに適切な対応がされていないことや、道路工事に付随する街路樹の扱いについて、安全安心や環境配慮の観点からの整合性と地域説明が不十分であることが指摘されました。

限られた日程の中で精力的に審査を行い、決算は認定されましたが、執行機関の取り組み不足と答弁の不十分さが、改めて明らかになり、中身のある有意義な質疑の展開が困難であったことが残念でなりません。

二元代表制の一翼を担う我々議会も適切に機能を発揮するべく研鑽を重ね、しっかりと取り組む気持ちを新たにしました。



予算・決算特別委員会について
執行機関から出された区の決算書について、各委員会が分科会を開き審査を行います。その後、全議員で構成する予算決算特別委員会を開き、決算審議(総括質疑)に入ります。

都市基盤整備特別委員会 (仮称) 四番町公共施設整備について

都市基盤整備特別委員会では、(仮称)四番町公共施設整備について集中的に審議を行ってまいりました。具体的には、現場視察をはじめ、段階的建て替えと一括建て替えの比較、住宅更新に伴う建て替え移転の状況、(仮称)麹町仮住宅について等々の調査です。一方、居住者への意向確認や陳情書審査をおこない、委員会としても関係者への意見聴取を実施してまいりました。

自由民主党会派は、区に対して、居住者や近隣住民など関係者への丁寧な対応を求めるとともに、(仮称)麹町仮住宅につきましても、

近隣住民のご意向を適切に受け止められるような検討協議会の設立を求めてまいりました。これからも、四番町保育園や児童館、図書館、区民住宅からなる公共施設が、早期に整備ができるように努めてまいります。



議会のあり方に関する調査特別委員会 大型スクリーンの活用報告

開かれた議会の一環として、議員の出欠状況や投票システムでの採択時にしか使用していなかった大型スクリーンの活用が議題として取り上げられ、議論の結果、平成28年第3回定例会から各議員の代表・一般質問時に活用されるようになりました。本会議場での質問の際にスクリーンに切り替えるとインターネット中継でも画面が変わり、資料が投影されるようになりました。

当日の傍聴者やインターネット中継視聴者への資料投影により、区民にわかりやすい議会のあり方の一助となりました。今後も当委

員会として活発な議論をさらに進めてまいります。

また、今後は、委員会のインターネット中継など、先進的な事例を参考とし、議会をより一層改革することを目指し、継続して調査・研究してまいります。



委員会
活動
レポート

代表質問



桜井ただし

平成28年度決算と今後の財政運営について

問:この一年の予算、決算審議の中で執行機関から十分な説明が不足していることから決算認定の継続や予算への減額修正が行われてきた。これを受けて区の今回の決算認定に臨む姿勢を問う。平成28年度決算の執行率はほぼ前年並みであったが77億円を超える執行残が生じており、区民サービスの低下や予算の活用不足が懸念され十分な検証を求める。

区への答弁

豊かな地域社会の実現を更に加速し、効果的な事業の実現に努める。事業の進捗の遅れや執行率の低いものは、その要因を検証して適切な見直しを図るほか、必要に応じて来年度の予算に反映をしていく。財政運営については国の税財政制度の見直しなど、懸念もあるが区の基金を有効に活用しながら、将来世代に負担を残さないよう財政運営を堅持する。

障害者に対する施策の拡充について

問:先の議会で終の住処となり得る機能を備えた障害者福祉施設を整備するよう強く求める決議を行った。障害者のご家族からも、親亡き後を含めて、安心できる施設や仕組みの早急な整備が強く求められているが障害者計画の中での検討状況はどうか。また、「えみふる」は、身体・知的・精神の障害および難病のある方が利用できる地域福祉の拠点だが、利用上の課題について区はどのように認識しているか。

区への答弁

障害者グループホームなどの施設整備は喫緊の課題。整備方法を含め、さまざまな可能性を検討しており策定中の障害者計画に施設整備の考え方を明記していく。障害者福祉センター「えみふる」の喫緊の課題はショートステイの不足。増設に向けた対応も検討する。運営方法等の改善についても指定管理者の選定とあわせて見直ししていく。

国の民泊新法の成立を受けて区としての対応は

問:千代田区内では民泊に関する苦情が増加しており、ゴミの出し方や知らない人が常に入り込んで不安、大声を上げるなど迷惑、誤って119番通報をかけるなどさまざまな問題がある。区内の民泊の現状と対応はどうか。区の実情を踏まえた独自のルールを作るべきと考えるが区はどのように考えるか。

区への答弁

区内の民泊は場所を特定できるものが66棟111部屋ある。違法民泊物件に対しては警察、消防とも連携し旅館業法違反として営業中止への指導をしている。今後は議員指摘の通りより厳しい区の独自ルールを設定できるようにする。



この他「危機管理対策について」「マイナンバー制度について」質問を致しました。

一般質問

大坂隆洋



明大通りのバリアフリー歩行空間整備事業について

問:お茶の水交差点から、駿河台下交差点までの明大通りは、昨年夏に工事が中断された後約1年にわたり、沿道の環境が悪いまま放置されてきた。この事業について区の見解と、今後の方向性は。



区への答弁

本事業の効果、必要性、公益性、重要性、緊急性などについて異論はなく、計画どおり進めていく予定。一方で、樹木については保存の意見も踏まえ、移植困難な樹木であっても、できる限り移植を試みる。

商工振興施策の課題について

問:商工振興施策の中でも、地域活性化の観点から中小ビルの支援は非常に重要な課題。実情に即した支援が必要では。

区への答弁

中小ビル経営に関する冊子を作成し、多角的な面から経営相談を行いながら、さまざまな支援メニューへとつなげていく。また、新たな支援策の必要性についても検討していく。

内田直之



民泊に対し区独自の規制強化を求める

問:政府は民泊新法を成立させた。千代田区に対しては、これまで通り慎重な対応を求める。また、区独自の上乘せ規制として、①営業日数の更なる規制②耐震性能の確保③避難経路の確保④管理者の常駐を求める。

区への答弁

区としては、厳しい区独自の規制を定める必要があると考える。ご提案も含め、独自の規制の方策を検討していく。

地域包括ケアシステムの推進について

問:推進するには地域コミュニティのなかで、新たな担い手を発見・育成する仕組み作りが大切である。また、安心して暮らせる住環境の整備では、関係部門間の連携も必要では。

区への答弁

新たな担い手の発見・育成のため、生活支援コーディネート体制を整備する。また、住環境の整備では、住宅付置制度を抜本的に見直し、良質な豊かな住環境の実現を目指す制度とした。



永田壮一



道徳教育について



問:評価方法と入試への影響、国旗・国歌教育の徹底、教育勅語・古事記(建国の歴史)の扱いについて問う。小中学校だけでなく保育園、幼稚園から教育基本法の「伝統と文化を尊重し我が国と郷土を愛する態度を養うこと」に則って指導するべきではないか。

区への答弁

道徳の評価は数値ではなく、個々の良い所を伸ばす成長の記録のようなものになる。入試には影響ない。教育勅語・古事記は指導していない。保育所指針規定による「保育所内外の行事で国旗に親しむ」「国歌、唱歌、わらべうたやわが国の伝統的な遊びに親しむ」に合わせて指導していく。保育園から国旗・国歌に親しむことが決まったことは評価したい。

池田ともり



図書館事業について

問:①区民が利用しやすい図書館とは。②青少年の居場所を整えた図書館と児童館との連携を。

区への答弁

①読書空間の形成、資料整備や情報発信など読書支援が大切。②事業面で連携し、中高生専用スペースなど青少年が過ごしやすい環境を整える。

英語多読の勧め

問:大量に英語を読む「多読」が効果的な学習法。そのための図書館整備や学校図書の実践を求める。



区への答弁

今後の国際教育の充実に向けて区内で連携を図り、区立図書館、学校図書室に多様な書籍をそろえる。

山田丈夫



自転車活用政策について



問:自転車活用につき、「快適にはしる」「きちんととめる」「みんなであつかう」「正しくまもる」の4つの基本方針について質問した。①国道・都道・区道の走行空間整備状況は。②駐輪場の整備状況は。③サイクルポートの適正な設置や駐輪の偏在解消は。④ヘルメット着用率向上へ購入費助成を。自転車保険加入促進を。

区への答弁

①一部の広い歩道で自転車と歩行者を分離しているが、国・都とも遅れている。狭い区道では歩道幅に取組みます。②地価が高く用地確保が難しいが、歩道上の設置等で整備する。③状況に応じたポート設置や再配置に頼らない方策を検討する。④低い着用率の原因は煩わしさ等もあり、手法を検討する。ルール等は多様な機会でも周知する。

Open the 区議会

「千代田区自民党議員団 控室」をご紹介します!

滅多にご紹介できない千代田区自民党議員団[控室]です。大所帯10名の議員が使うため部屋は168.4㎡あります。年4回の議会中はもちろん、議員同士の情報共有や意見を戦わせたり、区民の方々の様々な相談や対応にも活用しています。



データで見る千代田

千代田区の未就学児童数

千代田区内の未就学児童数を、地区別に4年前と比較してみました。全体で769名もの児童が増えていることがわかります。(平成29年4月1日現在)近年ファミリー層の転入が多い神田地区では、4年前に比べて約4割もの増加率を示しています。

麹町地区		
平成26年	1,682人	
平成29年	2,051人	+369人/+21.9%
神田地区		
平成26年	1,036人	
平成29年	1,436人	+400人/+38.6%
千代田区全体		+769人/+28.2%

データ:出張所別(0-5歳)住民基本台帳より

VOICEは、あなたの意見を紙面に活かします!

▶ウェブサイト

<http://jimin-chiyoda.tokyo>

▶お電話 03-5211-4320

▶ファクス 03-5275-6882